

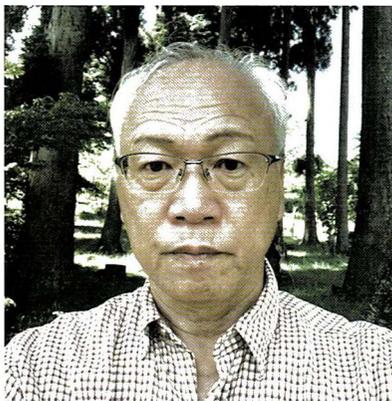
# 青健連だより

令和5年11月1日 発行

〔編集・発行〕

厚木市青少年健全育成会連絡協議会  
〒243-0018 厚木市中町1-1-3  
厚木シティプラザ内  
電話 046(225)2580

青少年健全育成会の事業推進につ  
きましては、日頃から地域の皆様方  
の御理解と御協力をいただき、厚く  
お礼申し上げます。  
行動制限がなくなり、少しずつコ  
ロナ前の日常生活に戻りつつありま  
す。先日、地元の学校の運動会と体  
育祭を参観させていただきました。  
ほとんどの教職員はノーマスク、子  
どもたちもノーマスクの子が多かつ  
たです。市や各地域の行事も復活し  
始めています。このままコロナが収  
束してほしいですが、これまで8月  
と1月が感染者数のピークだったこ  
とを考えると現時点（6月）で楽観  
視はできません。



厚木市青少年  
健全育成会連絡協議会  
会長 遠藤 進

## ピンチでも適切な行動がとれる子に

さて、今後の世界や日本のことを  
考えると、悲観的になってしまいま  
す。進行している地球温暖化、超高  
齢社会、近い将来発生すると言われ  
ている大地震と富士山の噴火、最近  
では生成AIのもたらすリスク等、  
様々な課題があります。これからの  
世界や日本を担っていく子どもたち  
には重すぎる課題です。

しかし、日本は戦後の焼け野原か  
ら再スタートして今の繁栄を築いて  
きました。先人たちの努力と実績は  
誇りであり、見習うべきものだと思  
えます。今の子どもたちは耐性がな  
いと打たれ弱いとかいわれていま  
すが、ピンチを迎えた状況において  
は力を発揮してくれると信じていま  
す。東日本大震災で「釜石の奇跡（実  
績）」と言われた中学生たちの活躍  
を見ると心強くもあります。

窮地に陥った時に自分や家族の安  
全を考えるのは当然です。重要な  
はその後です。みんなのことを考え  
て自分のことは我慢する。自分がで  
きることをして貢献する。弱い立場  
にある人を支える。みんなのために  
知恵を出す。このような行動ができ  
るにかかっています。

子どもたちは学校生活や様々な育  
成活動の中でこのようなことが学べ  
る機会があると思います。まずは、  
私たち大人が普段から手本を見せま  
しょう。

## 第48回 厚木市青少年健全育成大会

「心のふれあいと夢をはぐくみ、ともに楽しみ学び育つ」

**日時** 令和5年11月25日(土) ●受付 13:00 ●式典 13:30～

**会場** 厚木シティプラザ6階 サイエンスホール250

**内容** 【式典】 感謝状贈呈

【地区活動の発表】 睦合西地区青少年健全育成会

テーマ 多様化する子どもたちのために！育成会も！

【講演】

テーマ 空気を読む、鋭い感覚の子どもたち

講師 NPO法人千葉子ども家庭支援センター理事長 杉本 景子 氏

【関係者限定】



# 青少年健全育成会15地区活動紹介

## 【厚木北地区】

今年度は、4年ぶりに7月に地区盆踊り大会の開催が決まり、参加協力をしていきます。事業としては、8月、12月に愛のパトロール、11月にサイクリングツアー（事業内容の変更あり）、2月に青健連研修会、3月に青健、体育振興会合同研修会も計画しています。地区事業としては、10月の運動会への参加協力をしていきます。今後も、地域、関係団体、学校と連携して活動を展開していきます。



## 【厚木南地区】

3月4日に当地区の事業として湘南平までのウォーキング大会を実施しました。地域の健全育成活動の最大事業のひとつとして毎年ナイトウォークを行なっていましたが、コロナ禍の影響で2年間行なえませんでした。今回は初めて日中の開催となり、春の暖かな日差しを浴びて普段見たことのない風景を見ながら、子どもたちはゴールの湘南平まで19 Kmを全員完歩しました。



## 【依知北地区】

当地区では、例年、夏と冬のチャレンジセミナーを中心に活動しています。今年も夏、「相模川ナイトウォーク」では夜間より公民館から早朝の平塚海岸までの28Kmを歩きました。また冬には、1泊2日で「スキー・スノーボード体験教室」を群馬県の丸沼高原スキー場で実施しています。普段は朝のあいさつ運動、愛のパトロールを通して子どもたちの見守りを進めています。



## 【依知南地区】

「地域の子どもは地域で育てる」をモットーに、子どもたちに学び、気づき、体験の企画を用意し私たちも共にチャレンジしています。前期は地元でオリンピック種目にもなった「ボルダリング教室」を行いました。子どもたちは時間を忘れるくらい没頭し、何度も「壁」にチャレンジしました。これから先もジュニアリーダーや他団体と連携を深め、地道に活動していきます。



## 【睦合北地区】

今年度も、子どもたちの現状把握や役員の資質向上を目的とする研修会、地域の環境浄化活動の要となるパトロールを実施。「サマーキャンプ」も復活し、ジュニアリーダーが中心となり、ゲーム、ニジマスのつかみ取り、風車やピザ作り等を異年齢で交流しながら大いに楽しみました。「自然に親しむ会」では、セラドン石のストラップを作成。また、「スポーツ教室」では、高校生の指導により充実した学びの場を準備しています。



## 【睦合南地区】

当地区は、子どもたちに様々な体験や経験の場を作るために「そなエリア東京防災センター」に視察研修に行き、防災の知識を習得しました。また、デイキャンプで色砂を使用した観葉植物の植え込み作成やバルーンアートを行う予定です。安心・安全な地域を作るために、愛のパトロールを実施しています。あいさつ運動では、小学校新入生に、あいさつ運動ロγο入りクリアファイルを配布して啓蒙活動をしています。



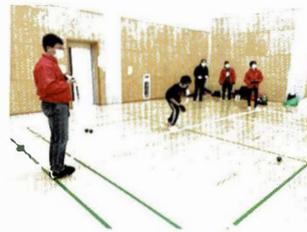
## 【玉川地区】

当地区では、成長過程にある小学生には、身体を使った体験型活動（例えば、あゆのつかみ取り等）の行事を取り入れ、小・中・高と成長してもいつまでも忘れない思い出として残る活動を行います。また、連日部活動等で目標に向かって頑張っている中学生には、活動の成果発表の場の設定やレベル向上を図るために他校との交流、高校生等との共演を設けて、実体験を増やして技術力向上等を図る活動を行います。



## 【萩野地区】

昨年は、コロナ禍での活動を余儀なくされたこともあり、企画事業としては、文化部会主催の卒業生を元気づけるための「打ち上げ花火」、体育部会主催の「スポーツ大会（ペタンク）」のみとなりました。また、「愛のパトロール」は、萩野神社祭礼日に実施しました。他に、地区大運動会、公民館祭りの各事業に協力しました。青少年育成活動の原点に立ち、事業活動を推進していきたいと思っています。



## 【小鮎川地区】

当地区では毎年開催していた「小鮎川リバーフェスタ」を昨年から再開しました。しかし、コロナ禍前に実施していた小鮎川を横断する大そうめん流し、鮎のつかみ取りと鮎の塩焼きを実施することが未だできていません。その代わりに川での宝探しを新たに追加してより小鮎川を楽しむことができました。来年はできる方法を検討して、まずは、鮎のつかみ取りと鮎の塩焼きを復活させたいと思っています。



## 【玉川地区】

今年度はコロナ禍で実施を断念していた川清掃を行う予定です。現在は以前よりもゴミが大分減ってきています。平成30年に実施した生き物の観察では、きれいな川にしかない魚が生息していることも分かりました。今回は生き物の観察も行い、更に、川でゲームも行う予定です。川とのふれあいを通して、川への親しみを持ってほしいと願っています。



## 【森の里地区】

「地域の子どもは地域で育てる」を活動の基本において地域と緩やかなつながりを保ちながら地域事業の活動に関わり、協働で子どもたちの育成活動に取り組んでいます。地域で継続的に行われている三大まつり事業でも協働しており、夏まつりでは、子ども盆踊りコンテストを催しています。本番に向けて地域の団体から踊りの指導を学校活動の中で取り入れ、まつり当日はレベルの高いコンテストになっています。地域の教育力をいかして地域の子どもを育む活動を実践しています。



## 【南毛利地区】

今年度も役員研修会、愛のパトロール、フェスティバルなどの事業を行います。昨年までは人数制限がありましたが、今年は人数制限は無く内容も概ね通常に戻せそうです。愛のパトロールは単位育成会ごとに小中学校の先生に同行していただき開催しています。



## 【南毛利南地区】

つかみどり大会は、当地区で最も人気のあるイベントです。玉川の金地橋近くの堰を利用して生けすをつくり、素手でアユやニジマスを捕まえます。生きた魚に触れるという非日常的な体験は子どもたちにとって刺激的であり、毎年約150人もの参加者が集まります。今年は焼きそばとかき氷の提供も復活し、夏らしい楽しみも加わります。会場設営等に2日前から御協力いただいた関連団体の皆様に感謝申し上げます。



## 【相川地区】

当地区では1年を通して「親子ふれあい」をテーマに活動を行っています。潮干狩り、芋掘り大会、みんなでラジオ体操、スキー教室、また、各関係団体の御協力をいただき、三校通学路清掃、夏休みの愛のパトロールも実施しています。引き続き安心安全に親子で楽しく参加できるよう事業を展開していきたいと思っています。



## 【緑ヶ丘地区】

当地区では、参加者・役員含め200人を越える「3世代交流レクリエーション大会」を主に、年間4つの事業を展開しています。新型コロナウイルス感染症の流行により、この3年間はなかなか思うような活動ができなかったですが、今年度になりようやく活動ができる状況になりました。コロナ禍になる前に計画していた新規事業も開催します。参加者がどの程度になるかわかりませんが、長く継続する事業にしていきたいものです。



厚木市青少年問題協議会  
今年度活動方針

心のふれあいと夢を育む青少年  
～家庭・学校・地域の連携で～

「心のふれあいと夢をはぐくみ、ともに楽しみ学び育つ」

地区会長  
紹介

 <p><b>南毛利地区 会長</b></p> <p>池田 晴彦</p> <p>当地区は単位育成会の事業が活発に行われており、参加人数も多く担当者は大変ですが、子どもたちのために頑張っています。</p>	 <p><b>荻野地区 会長</b></p> <p>小瀬古久秋</p> <p>コロナを育成活動を再考する良い機会とし、子どもたちの視点にたつて、事業と組織体制の見直しを進めていきたいです。</p>	 <p><b>依知南地区 会長</b></p> <p>有島 真樹</p> <p>地域の育成団体と協力して子どもたちに様々な学びや体験の場を提供できるように活動を進めていきたいと思っています。</p>
 <p><b>南毛利南地区 会長</b></p> <p>福田 裕実</p> <p>子どもと抱い手が減少しても持続可能な青少年育成活動のあり方を、DXによる効率化で模索します！</p>	 <p><b>小鮎地区 会長</b></p> <p>伊藤 大</p> <p>例年どおりの内容では後退!!いつもの活動に新しい試みを常に入れることを心掛けています。</p>	 <p><b>睦合北地区 会長</b></p> <p>大塚 裕美</p> <p>子どもたちの「笑顔があふれる学びの場」になるよう心掛けて、楽しく活動しています。</p>
 <p><b>相川地区 会長</b></p> <p>山川 忠規</p> <p>当地区では、親子のふれあいから地域のふれあいにつながる事業を展開しています。</p>	 <p><b>玉川地区 会長</b></p> <p>遠藤 進</p> <p>地域の人や自然とのふれあい、そして、家庭や学校では体験することの少ない活動を子どもたちに提供したいです。</p>	 <p><b>睦合南地区 会長</b></p> <p>福岡 典秋</p> <p>子どもたちにいろいろな体験や経験の場を作り、心に残る思い出作りをしたいです。</p>
 <p><b>緑ヶ丘地区 会長</b></p> <p>関口 藤緒</p> <p>私たちが行う事業を通して、子どもたちが思いやりや優しさを感ずり、心豊かに成長していくことを願っています。</p>	 <p><b>森の里地区 会長</b></p> <p>今若 直征</p> <p>大人も子どもも共に「学び」共に「育つ」活動を目指します。</p>	 <p><b>睦合西地区 会長</b></p> <p>菊地 啓</p> <p>子どもたちの遊び方が、世の中の変化とともに多様化している中、遊びたいもの、遊ばせたいものを取り上げて活動したいです。</p>
 <p><b>厚木北地区 会長</b></p> <p>柳田光太郎</p> <p>今年度は、小中学校と連携しながら、育成活動や地域活動の参加者を募り、楽しい事業を展開していきます。</p>	 <p><b>厚木南地区 会長</b></p> <p>小川 達也</p> <p>今まで以上のワクワク・ドキドキを子どもたちに届けるため、当地区青健連スタッフ全員で頑張ります。</p>	 <p><b>依知北地区 会長</b></p> <p>菊地富士夫</p> <p>子どもたちと共に楽しみ、学び、育つチャレンジの一年にしていきたいです。</p>

**令和5年度  
厚木市青少年健全育成会連絡協議会事業計画**

月 日	主な活動	会 場
5月 6日	総会	厚木シティプラザ
11月 25日	厚木市青少年健全育成大会	厚木シティプラザ
令和6年 2月 4日	地区交流研修会	厚木シティプラザ

- \* 毎月の理事会、青健連だより発行、他団体の支援協力
- \* 健全な青少年が育つための地域づくりの推進
- \* 啓発活動の展開
- \* 地域における青少年育成活動の推進
- \* 地域における親と子のきずなづくりの推進

**編集後記**

昨年、各地区では少しずつですが育成会の活動が実施されてきました。今年は更にコロナ禍における経験をいかし工夫をしながら様々な活動が行われています。地域のお祭りもコロナ禍前同様に、あるいは形を変えて行われています。太鼓の練習の音が久しぶりに聞こえてきます。3年間の空白を埋める太鼓の調子は色々な思いを乗せて響いていると思われます。育成会活動が安全・安心を第一に各地域の子どもたちに有意義なものとなるように努力していきます。

(編集委員長 有島真樹)